

平成26年5月27日

杉並区議会議長
大泉 時男 様

道路交通対策特別委員会
委員長 大槻 城一

道路交通対策特別委員会活動経過報告書

道路交通対策特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

記

1 活動年月日

- (1) 平成26年2月27日 報告聴取
- (2) 平成26年4月15日 委員の派遣

2 活動経過

- (1) 2月27日

① 東京外かく環状道路について

ア オープンハウス(杉並区)の開催概要について

1月23日に西荻地域区民センターにおいて、国が事業概要等について説明するオープンハウスが開催され、パネルと模型を用いて大深度地下使用認可申請の手続きや事業概要に関する説明が行われたとのこと。

また、杉並区のほか、練馬区、世田谷区、三鷹市においても同様にオープンハウスが開催されたとのこと。

イ 大深度地下の使用の認可に係る公聴会の開催概要について

外環道における大深度地下の使用については、事業者である国土交通省、NEXCO東日本及びNEXCO中日本が、大深度法に基づき国土交通大臣に対して使用認可の申請をしているところだが、申請の審査にあたり、大深度法第20条に基づき、利害関係を有する者から意見を聴取することが必要であると国土交通大臣が判断したことから、公聴会が開催されたとのこと。

公聴会を開催するにあたり、1月30日から2月10日までの期間において、公述人の募集を行い、公述人を選定したとのこと。

公聴会は、2月23日と24日の2日間、住友不動産新宿セントラルパーク

ビルで開催され、外環道の早期整備を要望する意見、シールド工法や地下水流動保全工法による地下水等への環境影響や安全性に関する指摘があり、また、多くの公述人から、事業者は住民からの質問に対する説明責任を果たしていないなどの意見が出たとのこと。

ウ 「第9回外環の地上部街路に関する話し合いの会」の概要について

平成25年12月11日に、第9回外環の地上部街路に関する話し合いの会が、あんさんぶる荻窪で開催され、練馬区の大泉1キロメートル区間の事業認可に関する質問や意見が出されたとのこと。

② 杉並区自転車利用総合計画の改定について

杉並区自転車利用総合計画案について、平成25年10月11日から11月9日の間、パブリックコメントを実施した結果、12人から20項目に渡る意見の提出があったが、その多くは日ごろの自転車対策、交通安全対策事業に対するものであったとのこと。

区は今後もこれまでの考え方に沿って進めていくこととし、計画内容そのものの修正は行わないこととしたが、一部については文書の表現等をより適切な記述へと修正するとともに、使用料等の見直しの進捗に合わせ、有料自転車駐車場の使用料及び自転車の撤去手数料について、それぞれ定期的に算定数値を検証して見直しを行うルールを確立するという文言を新たに追加したとのこと。

今後のスケジュールとしては、3月に、ホームページ、広報等を用いて区民意見結果の公表を行う予定であるとのこと。

以上のとおり、2件の報告を聴取し、質疑応答を行いました。

(2) 4月15日

東京外かく環状道路におけるシールド工法の安全性と環境に与える影響、防災設備及び災害発生時の安全確保策等に関する調査を行うため、以下の場所に委員を派遣した。

- ① 首都高速道路中央環状品川線大井ジャンクション工事現場(品川区八潮1-3)
シールド工法についての概要説明を聴取し、工事現場を視察。
- ② 東京外かく環状道路東名ジャンクション工事現場(世田谷区大蔵5-20)
シールド工法によるトンネル立抗工事現場を視察。
- ③ 東京外かく環状道路世田谷区喜多見七丁日常設会場(世田谷区喜多見7-33-18)
東京外かく環状道路の事業説明資料が設置されている会場で質疑応答。

以上